

(2) 職員の環境教育

ISO14001を運用し、継続的に環境負荷低減を図っていくため、下表の研修計画に基づき本庁及び各地域機関で研修を実施しました。平成19年度は、庁舎管理担当者を対象として、

環境関連法規制に関する講義に加え、関連する施設・設備を視察する法令研修を実施しました。

研修の種類	研修の目的
管理者研修	環境マネジメントシステムの重要性を理解させ、管理者としての責任を自覚させる。
総括環境推進員・環境推進員研修	環境マネジメントシステムに関する適正かつ最新の知識を理解させ、各部局等の責任者としての自覚を高める。
一般職員研修	環境マネジメントシステム全般に対する知識、環境方針、目的及び目標、実施計画等を理解させ、個々の職員の自覚を高める。
新規異動職員研修	環境マネジメントシステム全般に対する知識、環境方針、目的及び目標、実施計画等を理解させ、個々の職員に自覚させる。
特定業務職員研修	著しい環境影響の原因となりうる活動・サービス(オフィス活動を除く。)に従事する職員に専門的知識及び技能を修得させる。
環境監査員研修	環境マネジメントシステム監査に必要な知識及び技能を修得させる。
基本研修	環境マネジメントシステムに関する基本的知識・能力を段階的に修得させる



新規異動職員研修
(ごみ分別ゲーム)
(平成19年5月 津市)



法令研修
(平成19年9月 伊勢庁舎)



内部環境監査研修
(平成19年10月 津市)

研修計画に基づき、各階層に応じた講義・演習を行いました。



(3) 環境監査

ISO14001では、各組織の作成した環境管理の計画が規格に適合しているか、また、計画どおり実施されているかを点検し、必要に応じ是正することが要求されています。その点検に

は、組織内部で行う内部環境監査と第三者機関による外部審査があります。平成19年度の実施結果は以下のとおりです。

① 内部環境監査

平成19年度の内部環境監査を、平成19年11月12日から12月11日までの間に、本庁及び各地域機関で実施しました。その結果、記録の不備や職員研修の未実施が確認されるなど13件の指摘事項と、職員の環境マインドを醸成するための情報共有や所属の取組における工夫などの49件の推奨事項(良い点)、34件の提案事項(意見)がありました。

推奨事項については、その取組内容を他部局へ紹介し、その活動を広げていくようにしています。

② 外部審査

平成20年1月22日から25日の4日間にわたって、財団法人日本品質保証機構の審査員により、本庁及び各地域機関で定期審査が実施され、登録継続が承認されました。



内部環境監査
小児心療センターあすなろ学園(津市)

13件の指導事項と49件の推奨事項、34件の提案事項がありました。



外部審査
科学技術振興センター工業研究部(津市)

登録継続が承認されました。

